

# 第14回 がんばれ西高!

## 先輩も頑張っています!

本校の卒業生で、鳥根県立養護学校に勤務する三島慎司さんは、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の生活・作業支援を行う施設「のぞみ福祉作業所」と養護学校の生徒を結び付ける活動を行っておられます。活動内容は、同作業所が販売する手漉きハガキの材料となる紙パックを生徒が集め、応援メッセージなどと一緒に送るといったもの。その他、福島から種を購入し、咲かせた花の種を再び福島に送る「福島ひまわり里親プロジェクト」にも参加。送った種は復興のシンボルとして植えられ、種油はバスやトラックの燃料に使われるということです。その活動は県内の他の養護学校にも広がりを見せています。

三島さんは、「活動の広がりをうれしく思う。生徒らの社会勉強にもなる。」「支援は思いやりの気持ち。各自ができる事をできる範囲で取り組んでほしい。」とボランティアへの思いを述べられています。

ボランティア活動 その後

東日本大震災の発生から今日で4年を迎える。これまで、復興支援のため全国各地からたくさんの方々がボランティア活動に携わってこられた。その中でも、鳥根県立養護学校から卒業した三島慎司さんは、同校の生徒らと共に、宮城県南三陸町の生活・作業支援を行う施設「のぞみ福祉作業所」と養護学校の生徒を結び付ける活動を行っておられます。活動内容は、同作業所が販売する手漉きハガキの材料となる紙パックを生徒が集め、応援メッセージなどと一緒に送るといったもの。その他、福島から種を購入し、咲かせた花の種を再び福島に送る「福島ひまわり里親プロジェクト」にも参加。送った種は復興のシンボルとして植えられ、種油はバスやトラックの燃料に使われるということです。その活動は県内の他の養護学校にも広がりを見せています。

三島慎司さん

鳥根からでも支援できる

教え子へ。

三島さんは、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の生活・作業支援を行う施設「のぞみ福祉作業所」と養護学校の生徒を結び付ける活動を行っておられます。活動内容は、同作業所が販売する手漉きハガキの材料となる紙パックを生徒が集め、応援メッセージなどと一緒に送るといったもの。その他、福島から種を購入し、咲かせた花の種を再び福島に送る「福島ひまわり里親プロジェクト」にも参加。送った種は復興のシンボルとして植えられ、種油はバスやトラックの燃料に使われるということです。その活動は県内の他の養護学校にも広がりを見せています。